

授業の大きなねらいを、自分のライフプランの中で金融をいかに身近なものとして考えることができるようになるかということと設定した。生徒自身は今の生活の中で、お小遣いをどう使うのか、お年玉をいくら貯金していくら使うのかなど考えて生活しているようだが、これから社会に出て自分で稼ぎ生活していくにあたり、ライフプランを考えておく必要があるため、預貯金だけでなく投資についても理解し考えさせておくことが大事であると思い授業を考えた。

1 時間目は、現代経済社会の状況、特に経営環境の厳しさを理解し、職業選択や社会人生活 1 年目からライフプランを実行してほしいと考え、企業の倒産件数の増加についてその背景を考えさせることにした。生徒の中には、コロナ禍に家業の経営が厳しかったという記憶を持っている者もいて、コロナ関連の支援制度が終了した現在の方が厳しい状況にある企業も多いことを知り驚いていた。将来の職業選択について生徒に聞いてみたところ、堅実に公務員を目指す者もいれば、為替相場などの経済状況だけでなく社会全体の状況も考えたうえで家業を継ぐという者もいた。将来の職業選択について考えるきっかけになったのではないかと思った。

2、3 時間目の生活設計・マネープランゲームでは、人生の疑似体験を通してより具体的な生活設計をイメージさせ、その中で金融・投資についてどのように活用していけばよいかを考えさせた。

ゲームの中では、自分が思い描いた経済生活ができない状況になっていたが、生徒はグループ内で考えを出し合いながら状況に応じた選択をしていた。2 時間という長時間の活動であり、また、借金がかさむような状況になったとき、「まねらん」の個々人の状況を共有し、投資の役割を認識させたことは、授業の流れの中で良いポイントになったと思う。授業終了後の生徒の感想は、1 時間目と同じように堅実な生活設計を望むという意見とともに、投資についても考えていきたいという意見も見受けられた。

4 時間目は、投資と詐欺について学習することで、4 時間分の授業のねらいをおさえようと考えた。

投資の種類ごとにお金をどう割り振るのか考えさせてみたが、自分ごととして考えられていなかったため、お年玉という現実的なお金（金額）で考えてみようという提案をし、改めて考えさせた。多くのお金を預貯金にまわすという生徒も多く、堅実にマネープランを考えていることが伝わってきた。また、ローリスクの投資をメインに考えている生徒もあり、その考えを全体で共有できたことは良かったと思う。最後は警視庁の投資詐欺についての HP を確認しながら、リスクを具体的に考えまとめた。

授業全体を通して生徒全員が積極的に参加し、考え、意見を出し合い共有することができ、ある程度目標は達成できたのではないかと思う。教材を提供してくださった金融経済教育推進機構および全国銀行協会に感謝申し上げる。

また、「まねらん」※は生徒が夢中になるほどよくできたアプリであり、授業で活用したことも、この授業において効果的であったと考える。

※ 「まねらん」は 2025 年 3 月末を以て、サービス終了

生徒の感想（抜粋）

- 徐々に物価が上昇していく中で、お金の大切さを実感することができた。
このような状況の中で、安定してお金を得ていくには投資もひとつの方法だと思った。
リスクも踏まえ、投資する企業を選択することが大切だと思った。
- ある程度、生活に余裕があれば投資をしてもよいかなと思った。
- 投資は経済成長を支えている。
将来に必要なお金を準備することができ、リスクに備えることもできる。
- 金融に関する正しい知識を身につけることで、将来の自分のため、社会のためになることが分かった。
- 正しい知識を身につけたうえで投資をしないと、お金が無くなってしまったり、投資詐欺に遭ったりするので気をつけないといけない。